

デンマーク・カバードボンド戦略ファンド2019-12 (為替ヘッジあり/限定追加型)

足元の値動きと今後の見通しについて

2020年3月23日

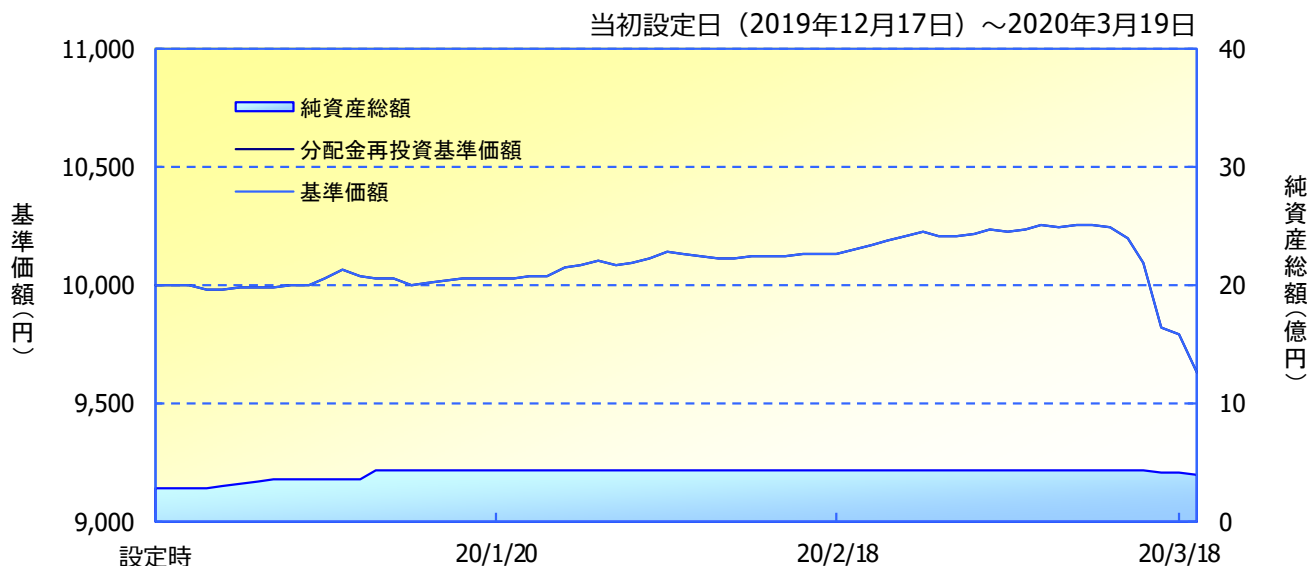
平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により金融市場の変動が大きくなる日々が続いており、受益者の皆様にはご心配をおかけしていることと存じます。足元の投資環境を受けた当ファンドの運用状況についてお知らせいたします。

■ 基準価額・純資産の推移

2020年3月19日現在

基準価額	9,629 円
純資産総額	395百万円



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

■ ファンドマネージャーのコメント

デンマーク・カバード債（以下、カバード債）市場は、ファンド設定来、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念の高まりから世界的に金利の低下が進むのに伴い、金利が低下（債券価格は上昇）していました。

しかし、3月9日（現地、以下同様）以降は、ECB（欧州中央銀行）理事会での政策決定を受けて金融緩和の限界が意識されたことや各国政府が財政政策を次々と発表したことなどから金利は上昇に転じ、カバード債市場でも金利は上昇（債券価格は下落）しました。

特に16日には債券価格が大きく下落しましたが、これは債券の追加発行が行われた際に、現金を保有するニーズの高まりなどから、発行された債券の買い手があられなかったことが直接の要因でした。

またデンマーク中銀が政策金利（譲渡性預金金利）の0.15%の引き上げを決めた19日にも、債券価格は大きく下落しました。デンマーク中銀の利上げは通貨安を阻止し、デンマーク・クローネの対ユーロでの為替レートを一定の範囲に維持するためにとられた措置でした。

今後のカバード債市場については、新型コロナウイルスの感染拡大の動向や市場心理の動向に左右されて、変動の大きな展開が続く見込みです。ただし、以下の理由から、カバード債の今後を過度に心配する必要はないと考えています。

まず1つ目に、カバード債は安全な資産だということです。

新型コロナウイルスはデンマークでも感染が拡大しており、住宅市場や住宅価格への影響は相応に出ると考えられます。一方で、カバード債の担保である不動産ローンは、保守的な条件で貸し出されているほか、延滞率も低い水準での推移が続いており、質の高い資産だと言えます。またカバード債自体も、債券残高を上回る担保を有しているなど高い安全性を備えており、それは新型コロナウイルスの感染拡大という状況においても変わりはありません。

2つ目に、カバード債市場の状況が悪化する際には、政策当局からの支援が期待されることです。

カバード債市場の状況の悪化はデンマークの住宅市場の悪化につながるため、政策当局は状況の悪化を食い止める意思があるとみています。実際に米国やカナダ、スウェーデンでは、すでに中央銀行により住宅ローンを担保にした証券を買い支える政策が発表されています。

新型コロナウイルスの感染が終息に向かえば、あるいは当局の対応などにより市場心理が改善していけば、安全性が高い一方で債券価格の下落により割安となったカバード債への資金流入の動きが強まっていくと考えています。

今後についても時々刻々と変化していく新型コロナウイルスの情勢と金融市場を注視しつつ、注意深くポートフォリオの運用を行ってまいります。

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

デンマーク・カバード債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

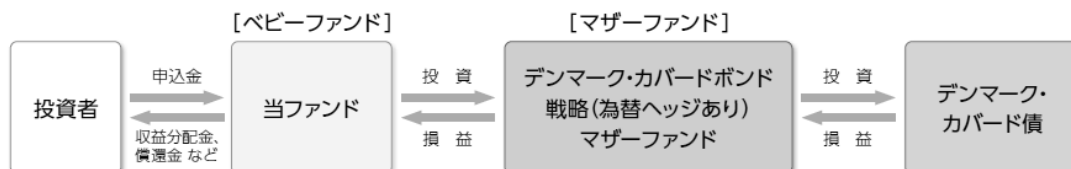
- 主として、不動産担保ローンを担保とするデンマーク・クローネ建てのカバード債に投資します。
 ※ 市場環境等によっては、デンマーク・カバード債に代えてデンマーク国債を組み入れます。
 (カバード債について)
 - ◆カバード債とは、不動産担保ローンを担保として金融機関が発行する債券をいいます。
 - ◆担保付であるため、万が一発行体が破綻した場合、カバード債の投資家は担保資産に対し、優先弁済権を有しています。
- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
 ※為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
 ※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

■一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」(分散投資規制)では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。

- ・投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
- ・運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合

■当ファンドは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

- 信託期間は約5年とします。ただし、判定日における基準価額が10,200円を下回っていた場合、信託期間を約3年間延長します。
 - ◆判定日は、満期償還日(2024年11月20日)の20営業日前とします。
 - ◆基準価額は1万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
 - ◆判定日の翌日以降、基準価額が一度でも10,200円以上となった場合、安定運用に入った後、繰上償還します。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。
 - ・ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



- 当ファンドの購入の申込みは、2020年1月6日までの間に限定して受け付けます。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「カバード債特有のリスク(期限前償還リスク・流動性リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 1.65% (税抜 1.5%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 0.6875% (税抜 0.625%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

デンマーク・カバードボンド戦略ファンド2019-12（為替ヘッジあり／限定追加型） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。